

学位被授与者氏名	安達 輝美 (あだち てるみ)
論文題目	「わたし」に取り組むママの誕生
論文審査結果の要旨	<p>母親の表象分析に関しては、これまでジェンダーやセクシュアリティなどの切り口で研究されているが、本論文では自己実現の切り口で母親像を捉え返そうとし、先行研究で導き出された「育児だけではない私」を超え、新たな母親像を抽出しようとした興味深い論文であり、対象とする雑誌について丹念に分析した労作でもある。</p> <p>さらに、聞き取り調査を通して雑誌等で表象された母親の実像を描写しているが、職業を通して「ママ」たちに接するインフォーマントの語りにより子育てをめぐる社会関係をどのように取り結ぶかの差異を明らかにするなど、多面的な「ママ」の姿を示していて意義深い。</p> <p>ただし理論枠組みに関しては粗削りであることや、雑誌の内容分析で抽出した働く母親像について、聞き取り調査で詳細な検討をするに至らなかった点が惜まれる。とは言え、容易には現れにくい実像に果敢に迫ろうとした点は高く評価できる。</p> <p>平成 26 年 2 月 21 日 (金曜) 6 限・7 限に、北九州市立大学北方キャンパス 4 号館 4-301 教室において、審査委員全員出席のもとで最終試験を実施して学力を確認し、論文の説明を受け、質疑応答ののちに、全員一致で当該論文が修士(人間関係学)として十分な内容であると判定した。</p>